

第36回

大阪市保育運動連絡会総会行動提起

今こそ学び、つながり、声をあげよう

1、 地域保育連での運動を保護者とともにすすめましょう

- 子どもたちの発達を保障する保育や子育て環境の改善を目指して、各保育園で保育情勢の学習や交流などを行い、保護者とともに保育環境をよくする運動をすすめましょう。
- 「総会議案書」を各地域の保育連、保育園保護者会、職員労組などで会議を開いて議論して、今後の運動に生かしましょう。

2、 大阪市保育運動連絡会の活動に参加しましょう

- 大阪市保連運営委員会（第3木曜日）を大阪保育運動センター現地参加とweb併用で行ないます。運営委員会に参加して保育要求実現に向けてみんなで議論していきましょう。

3、 秋の大運動に取り組み、保育環境改善の要求を大きな声にしましょう

- 秋の大運動で、こどもたちの保育を維持し、保護者の就労を支えた「保育」の必要性を訴えるとともに、署名を集める中で最低基準の引き上げ、公定価格の増額などを訴えていきましょう。

4、 全国合研にたくさんの参加をよびかけましょう

- みんなで集会同様、合研もオンライン併用で行われます。チラシを保護者・保育者に配布しお知らせし、サテライト会場を開設するなどして沢山の参加を呼びかけましょう。
- 合研の分科会は合研参加申し込み後、希望の分科会に申し込みが必要です。大阪で開催の分科会については会場参加も可能です。

5、 『ちいさいなかま』を活用して子育てのつながりを広めましょう

- まだ購読していない職員や保護者に見本誌を配るなど、ちいさいなかまの購読を増やす活動をすすめましょう。
- 当面、市内で600部を目指して各保育園で3人の「ちいさいなかま」の読者を広げましょう。
(現在537部)

6、 大阪市保育運動連絡会の個人会員を増やし、ともに運動をすすめましょう

- 各保育園で今より2名会員を増やすことを目標に活動しましょう。
- 財政を支え運動を強化するために、夏季活動強化カンパに取り組みましょう。

7、 ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻についてあらゆる場で反対の声をあげるなど、平和を守る運動をすすめましょう。

- 平和な社会を子どもたちに手渡すために「日本国憲法」や「憲法9条」「核兵器」について、保育者同士、保護者、子どもたちと考え、学習、交流を行いましょう。